

## 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

### 1. 学校概要

学 校 名 藤 岡 市 立 鬼 石 北 小 学 校  
(※正式名称を記載)

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫<sup>※注 1</sup>  
☐ 中学校 ☐ 中高一貫<sup>※注 2</sup> ☐ 高等学校  
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校  
☐ 特別支援学校  
☐ その他（例：小中高一貫）  
※注 1 義務教育学校を含む ※注 2 中等教育学校を含む

所在地 〒 3 7 0 - 1 4 0 6  
群馬県藤岡市浄法寺 8 4 2

E-mail onishikita-es@fujioka-school.gunma.jp

Website <http://10209.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1010011>

幼児児童生徒数 男子 3 9 名 女子 4 4 名 合計 8 3 名  
幼児・児童・生徒の年齢 7 歳～ 1 2 歳

### 2. 報告期間

平成 2 9 年 4 月～平成 3 0 年 3 月

※報告書提出時点～平成 3 0 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

### 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（8 0 0 字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

本校は、中学校区小中一貫教育の目標として、「自他を大切にし、自分の意見を生き生きと表現できる子ども」とし、E S D の実践を通して学校教育目標『心豊かで、自ら学び実践するたくましい児童の育成』を目指した。

具体的には、平和・人権教育を柱に、①平和・人権に係わる活動、②世界遺産に係わる活動、③環境学習に係わる教育、④防災に係わる学習、⑤健康教育に係わる学習を行った。

① 平和・人権に係わる活動 ※自他を思いやる人権教育

日常生活や自分の心の中にある差別や人権に関わる課題に気づき、誰にとっても過ごしやすい学校や学級をつくろうとする意欲や技能を育てることをねらいとした人権集中学習（なかよし月間）を年に 2 期、実施する。

【本年度 第 1 期 6 月 5 日～6 月 16 日 第 2 期 11 月 6 日～12 月 1 日】

◎人権集中学習の一環として児童会本部が中心となって行う 4 つの活動

・ いじめ撲滅宣言 : 『いじめ防止に向けたスローガン』考案。

スマイルハイタッチ挨拶運

HAPPY はあとふるツリー運動

- ・ なかよし集会 : 全校児童がお互いの理解を深め、相手を思いやる心を育てる活動。
- ・ 全校鬼ごっこ集会 : 全校児童と一緒に遊び共に楽しい時間を過ごすことで、いじめを防止し、よりよい人間関係を作る活動。
- ・ なかよし清掃 : 縦割り清掃を行い児童が協力し助け合うことでよりよい人間関係を育てる活動。

## ②世界遺産に係わる活動

全学年：平成26年6月に、高山社跡が絹産業遺産群の一つとしてユネスコ世界遺産に正式登録されたことに伴い、高山社や創始者高山長五郎の業績、藤岡市の伝統産業であった養蚕及びその発展等について系統的に学習した。

1・2年：かいこの成長を見よう

3年生：かいこを育てよう（蚕の飼育）

4年生：高山社跡を見学しよう、座繰り体験をしよう

5年生：高山長五郎について（道徳）

6年生：富岡製糸場と絹産業遺産群について調べよう

3年生以上 夏休みの課題「高山社についての自由研究」

## ③環境学習に係わる学習

・ NPO 法人神流川による、地域の川「神流川」へのヤマメの稚魚放流観察への参加。神流川の生態観察や川の流れ、自然環境について学習。

## ④防災に係わる学習

全学年：避難訓練等を通して、防災教育に取り組んでいる。

## ⑤健康教育に係わる学習

全学年：学校歯科医師訪問による講話や市保健センター職員を講師とした歯磨き指導を実施した。



①の写真（HAPPY はあとふるツリー運動）



① の写真（なかよし清掃）



② の写真（高山社跡見学）



② の写真（蚕の飼育）

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

#### エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

カイコの飼育体験教室 飼育マニュアル（日本絹の里） カイコの絵本 農文教 カイコ図鑑 国土社
--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（２００～３００字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

１・２年：かいこの成長を見よう・・・生活科  
３年生：かいこを育てよう（蚕の飼育）・・・総合的な学習の時間  
４年生：高山社跡を見学しよう、座繰り体験をしよう・・・総合的な学習の時間  
５年生：高山長五郎について（道徳）  
６年生：富岡製糸場と絹産業遺産群について調べよう・・・社会科  
３年生以上 夏休みの課題「高山社についての自由研究」

年間指導計画にねらい・学習活動内容を明記し、学習後に修正・見直しを行い朱書きする。また、写真等で授業の記録を残す。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（２００字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

３年生は２年生へ、４年生は３年生へ、５年生は４年生へ、６年生は５年生へ学習内容を発表する時間を設けている。また、写真等で授業の記録を残し、指導者が代わっても継続して指導できるようにしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（２００字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校経営評価（内部）

４年生の学習発表会の高山社の発表で、他の学年も地域の高山社に興味関心をもつことができてよかった。

ホームページで子どもたちの活動の様子を細かく載せているので、地域への情報発信ができています。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（２００字程度） ※チェック事項 2-2 に対応

ホームページで子どもたちの活動の様子を細かく載せているので、保護者・地域への情報発信ができています。  
保護者・地域へ学校で行っている ESD の活動を理解してもらい、協力できるところは協働してもらっている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など）（２００字程度）  
※チェック事項 2-3 に対応

地域の各種団体（育成会・消防団・敬老会・体育協会・交通安全協会等）と協働で、学校行事を実施している。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（２００字程度）  
※チェック事項 2-4 に対応

連携型小中一貫校として校区内の３校で様々な場面で交流を図っている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

・子どもたちに「いじめは絶対いけない」という意識が高まった。  
・地域・保護者にホームページで学校の活動の様子を発信することで、学校と家庭及び地域との連携について、学校評価で高いポイントを得ている。

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400 字程度）

**平和・人権に係わる活動**

日常生活や自分の心の中にある差別や人権に関わる課題に気付き、誰にとっても過ごしやすい学校や学級をつくろうとする意欲や技能を育てることをねらいとした人権集中学習（なかよし月間）を年に 2 期、実施する。

**世界遺産に係わる活動**

全学年：平成 26 年 6 月に、高山社跡が絹産業遺産群の一つとしてユネスコ世界遺産に正式登録されたことに伴い、高山社や創始者高山長五郎の業績、藤岡市の伝統産業であった養蚕及びその発展等について系統的に学習した。

1・2 年：かいこの成長を見よう

3 年生：かいこを育てよう（蚕の飼育）

4 年生：高山社跡を見学しよう、座繰り体験をしよう

5 年生：高山長五郎について（道徳）

6 年生：富岡製糸場と絹産業遺産群について調べよう

3 年生以上 夏休みの課題「高山社についての自由研究」